

誰もが、誰かの、
たからもの。

令和7年度 島根県立青少年の家運営委員会

日 時： 令和8年2月20日(金) 13:30～
場 所： 島根県立青少年の家 第4研修室



島根県立青少年の家

令和7年度 島根県立青少年の家運営委員会 次第

日 時：令和8年2月20日(金) 13:30～
場 所：島根県立青少年の家 第4研修室

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 施設の利用状況等について . . . 資料 1
- (2) 令和7年度主催事業の実施状況について . . . 資料 2-1
- (3) 令和7年度広報・啓発実績について . . . 資料 2-2
- (4) 令和7年度出前講座の実施状況について . . . 資料 3
- (5) 指定管理の状況について . . . 資料 4
- (6) 施設管理の状況について（指定管理者：北陽ビル管理株式会社） . . . 資料 5
- (7) 施設の改修工事等について . . . 資料 6
- (8) 令和8年度の主催事業について . . . 資料 7
- (9) 施設使用料の改定について . . . 資料 8
- (10) 食事料金等の改定について . . . 資料 9

3. 閉 会

令和7年度 青少年の家運営委員会 名簿

■ 運 営 委 員

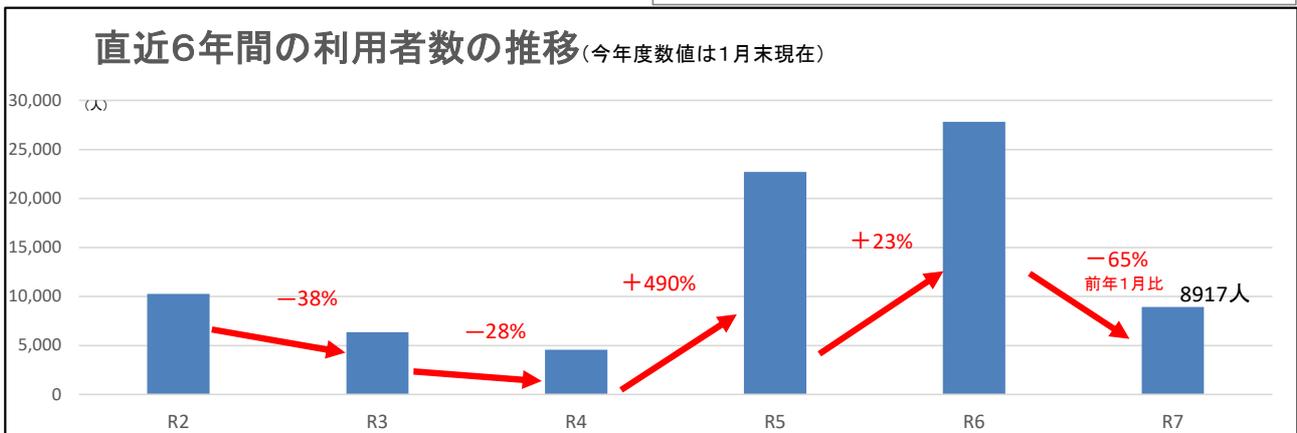
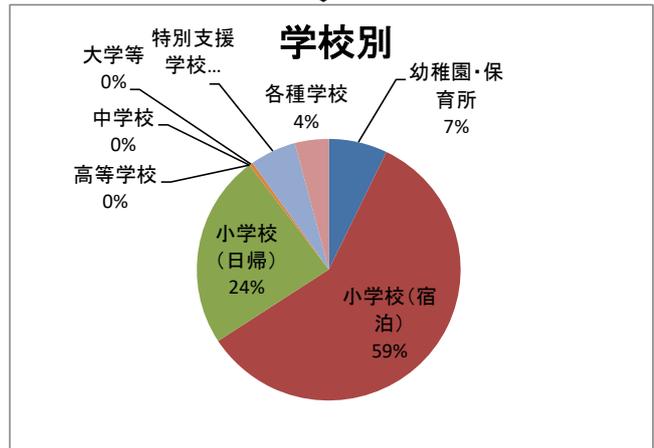
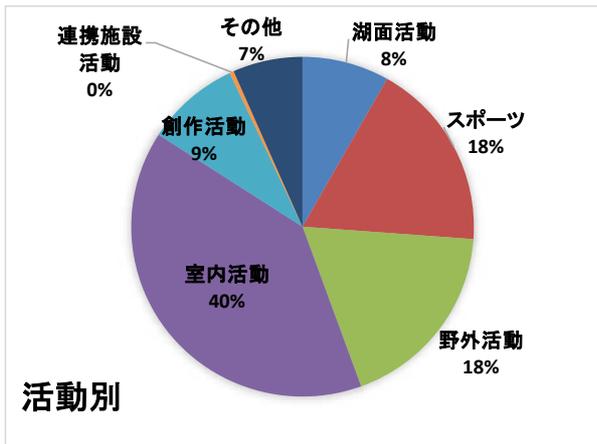
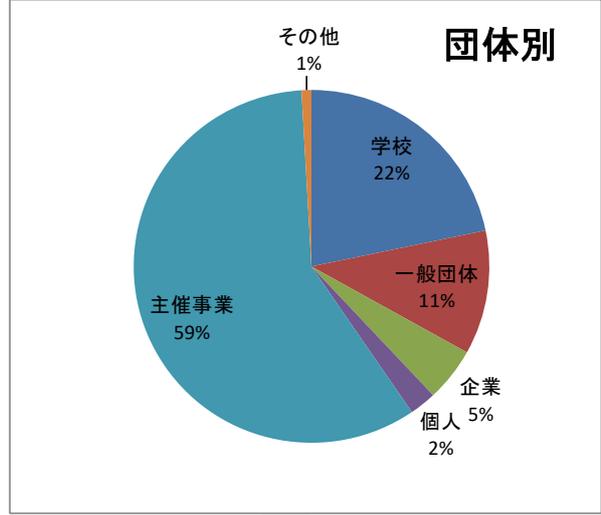
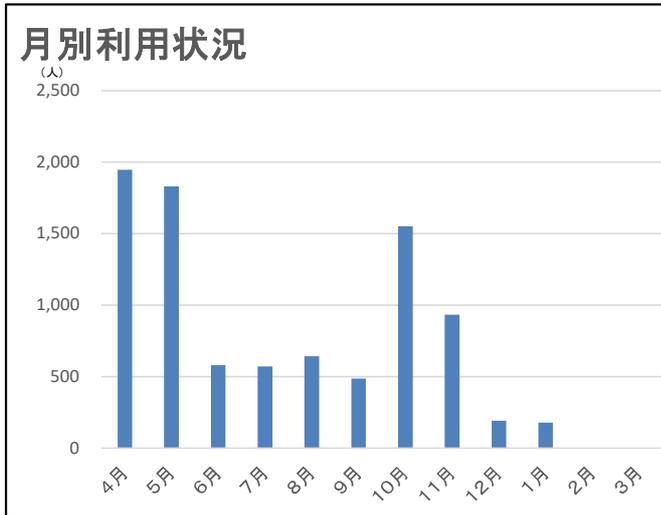
	氏 名	所 属 等
1	中谷 陽子	公立大学法人島根県立大学 准教授
2	飯塚 大幸	宗教法人一畑寺 一畑薬師管長
3	黒崎 光恵	公益財団法人ホシザキグリーン財団 広報課長
4	池田 さゆり	島根県中学校長会 (出雲市立向陽中学校長)
5	大森 栄二	島根県スポーツ少年団 本部長
6	西山 祐子	公益財団法人 島根県障害者スポーツ協会 主任
7	重田 総代	島根県保育協議会 理事 (社会福祉法人江和会うさぎ山こども園長)
8	原 徳子	公益社団法人島根県看護協会 副会長
9	山本 翔	島根電工株式会社 大田営業所 総務課長
10	松村 健次	株式会社山陰中央新報社 執行役員 論説委員会論説委員長
11	楨野 吉人	島根県小学校長会 (松江市立鹿島東小学校長)
12	渡部 和夫	宍道湖漁業協同組合 代表理事組合長
13	古藤 啓一	島根県子ども会連合会 会長
14	野津 孝明	島根県公立高等学校長協会 (島根県立平田高等学校長)
15	吾郷 佳子	東コミュニティセンター マネジャー

令和7年度 利用状況(4月～1月)

資料 1

月別研修者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
R7	1,947	1,831	580	572	644	487	1,552	932	192	180	()	()	8,917	35%
R6	2,021	1,594	3,077	2,706	2,395	2,111	7,658	2,111	909	938	1,088	1,235	27,843	



社会全体におけるコロナ禍による影響や宿泊療養施設に伴う休所・部分開所の影響はR4で底を打ち、R5以降は回復傾向にある。ただ、今年度は大規模改修による部分開所のため、利用者は減少している。

令和7年度 島根県立青少年の家 主催事業等実施状況

事業名等	事業のねらい	参加対象及び参加人数等	実施時期
1 施設開放事業 計2,227名			
① 春のオープンデー ② 湖面カーニバル ③ サン・レイク フェスティバル ④ ウキウキ施設開放デー	施設設備を広く県民に開放し、青少年の体験活動の場、地域の交流の場を提供し、「青少年の家」の施設の理解と活用の促進に資する。	どなたでも ① 842名 ② 427名 ③ 756名 ④ 202名	① 4/27 ② 6/8 ③ 10/19 ④ 6/14,7/5,9/27,10/25,11/15
2 青少年教育事業 計156名			
〈地域【保育所等】の宿泊体験活動モデル事業〉 ○にんにんチャレンジ	基本的な生活習慣の形成と仲間と最後までやり通す力及び集団への適応力向上のきっかけとする。	年長児 ① 23名 ② 23名 ③ 24名 ④ 24名	年間4回(土日)日帰り ① 11/8 ②11/9 ③ 12/6 ③12/7
〈地域【公民館等】の宿泊体験活動モデル事業〉 ○キッズチャレンジ ①調理活動、サバニ ②調理活動、ネイチャーゲーム ③防災キャンプ	集団での生活体験や施設周辺での自然体験などを通して、協調性や自主性を学びきっかけとする。また、何事にも挑戦する気持ちを育む。	小1～3年 ① 12名 ② 24名 小4～6年 ③12名	年間2回(土日)1泊2日 ① 9/13-9/14 ② 11/1-2 年間1回1泊2日 ③12/20-21
〈次代のリーダー育成事業〉 ○サマーチャレンジ 海での体験活動、野外炊飯、登山	様々な体験活動を通して、体験活動への興味・関心を高め、活動するために必要な知識やスキルを習得する。多くの人と体験を積み重ねることにより、「社会を生き抜く力」として必要となる基礎的な能力を養う。	小5～中3 ① 14名	年間1回2泊3日 ① (8/7-9)
3 家庭教育支援事業 計237名			
〈宿泊体験活動〉 ① にこにこファミリー	家族や家族同士が触れ合う体験活動や講座、施設開放を提供する中で、家庭の教育力向上に資するとともに、体験活動への理解・普及に努める。	小学生を含む家族 ①6家族20名	年間1回(土日)1泊2日 ① 11/22-23
〈ひとり親家庭応援〉 ② エンジョイ! 親子キャンプ		ひとり親家庭 ② 13家族31名	年間1回(土日)1泊2日 ② 5/24-25
〈各種体験活動〉 ○わくわく体験講座 ①デイキャンプ ②夏の星空観察会・撮影会 ③レザークラフト ④サバニに乗って出かけよう ⑤サバニでしじり観察へGO 特別編：冬の野鳥を見に行こう ⑥ダンボールオープン作り・ピザを焼く ⑦スポーツ吹き矢・的あて ⑧一畑電車わくわく体験		未就学児や小学生を含む家族 大人ひとりも可 ① 14名 ② 38名 ③ 23名 ④ 中止 ⑤ 19名 21名(グリーンパーク連携) ⑥ 9名 ⑦ 32名 ⑧ 30名	年間8回程度(土日) 半日～1日 ① 6/14 ② 7/26 ③ 9/27 ④ 10/4 ⑤ 10/25 ⑥ 11/30 ⑦ 1/17 ⑦ 1/24 ⑧ 1/31
4 体験活動支援者養成事業 計49名			
○体験活動基礎講座	青少年活動をはじめとする地域活動やボランティア活動に必要な理論や技術を体験的に学べる機会を提供し、活動する上で必要なスキルの向上を図り、併せて社会貢献への意欲を高める。	教職員、大学生、公民館等職員、青少年教育関係者等 ① 13名 ② 3名	年間2回 (1泊2日×1回 日帰りで2日) ① 5/10-11 ② 6/26-27(日帰り)
○なかまづくりセミナー	なかまづくりゲームがチームビルディングの構築やリーダーシップの向上に有効であることについて実感してもらい、自分の所属等で仲間づくりゲームを活用した人材育成を行う意欲を高める。	教職員・研修担当者・公民館等職員・大学生等 ① 16名 ② 17名	年間2回 ① 7/30(雲南市) ② 8/19(隠岐の島町)
5 地域支援事業 計113名			
○地域の体験活動支援事業 ①子どもの活動安心サポート講座 ②子どもの体験活動を安全に実施するために ③子どもの育ちを支えるスキルアップ講座 ④子ども活動と安全管理	公民館等が学校や地域住民などの協力を得て行う宿泊や日帰りの体験活動を支援し、地域づくりを担う人づくり推進の一助とする。	公民館等職員 ① 40名 ② 13名 ③ 30名 ④ 30名	通年 ① 6/6(雲南市教育委員会) ② 7/9(飯南町教育委員会) ③ 7/16(安来市教育委員会) ④ 9/6(平田コミュニティーセンター)
6 地域連携事業			
○近隣施設や地元コミュニティセンター(CC)等地域との連携強化	体験活動の普及・啓発及び主催事業等の充実を図るため、近隣施設や地元コミュニティセンター等地域との連携強化を行う。		通年
7 アウトリーチ型支援事業			
○サンレイク出前講座	サン・レイクでできる体験プログラムの提供により、体験活動の普及啓発及び所の周知と利用促進を図る機会とする。	47団体 1593名 (1月末現在)	通年(6月～2月)

令和7年度 広報・啓発実績

資料 2 - 2

I. 所外での体験活動啓発活動

	事業名等	会場	参加人数
1	島根県公民館連絡協議会評議員会 (5/8)	サンラポーむらくも	35
2	三瓶祭 (10/12)	三瓶青少年交流の家	484
3	少年自然の家50周年記念祭 (10/26)	少年自然の家	350
4	灘分地区文化祭 (11/2)	灘分コミュニティセンター	210
5	東地区文化祭 (11/9)	東コミュニティーセンター	71
6	イオンモール出雲 ブース出展 (2/14, 2/15)	イオンモール出雲	
7	松江市子供会連合会 ブース出展 (2/22)	松江市総合体育館	
計			1,150

※この他、資料2-2で前述した「地域の体験活動支援事業」にて、市町村や公民館等へ出向いて助言を行いました。また、「出前講座」でも多くの県民に体験活動を提供することができました。

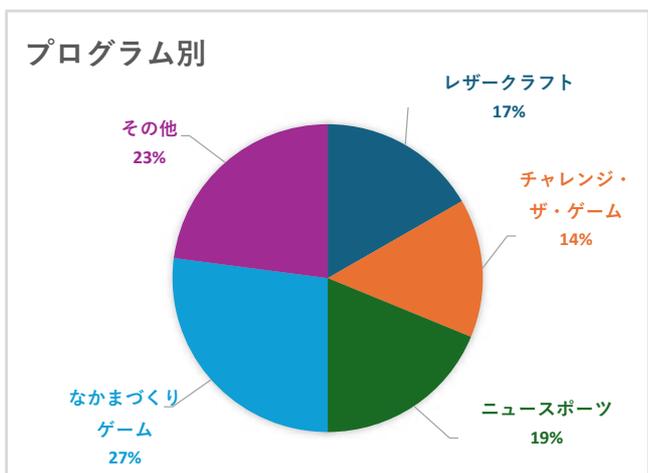
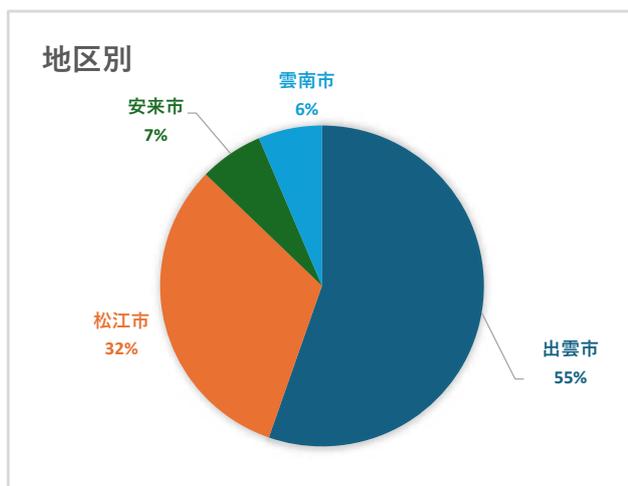
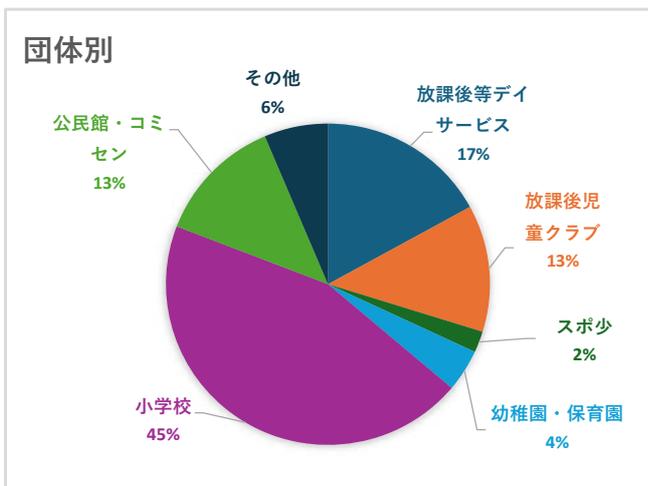
II. 社会教育関係者等による視察等

	視察名等	主な視察者	視察人数
1	青森県総合社会教育センター実地視察 (11/11)	青森県総合社会教育センター職員	3
計			3

令和7年度 出前講座の実施状況

(1月末現在)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
団体数	3	9	11	9	3	6	4	2	()	47
人数	118	243	364	309	183	212	108	56	()	1,593



指定管理の状況について

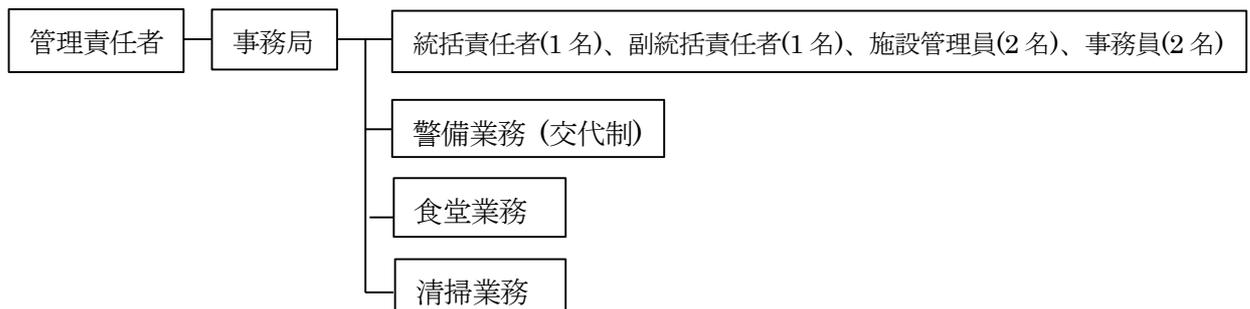
1 指定管理の状況

No.	年 度	期 間	指定管理者	備 考
(1)	H 3～18年度 (16年間)	県の直営時期	—	
(2)	H19～21年度 (3年間)	指定管理第1期	北陽ビル管理(株)	
(3)	H22～26年度 (5年間)	〃 第2期	〃	
(4)	H27～R元年度 (5年間)	〃 第3期	〃	
(5)	R 2～ 6年度 (5年間)	〃 第4期	〃	
(6)	R 7～ 11年度 (5年間)	〃 第5期	〃	

2 目的

民間事業者が有するノウハウを活用し、効率的かつ適正な管理運営を行うことにより、施設の利用者に対するサービスの質の向上を図る。

3 組織・体制



4 業務内容

- (1) 使用料の徴収及び還付並びに現金の納付 → 使用許可・納入通知書の発行は、県
- (2) 施設・設備の維持管理
 - ①建物管理・設備等保守管理及び稼働
 - ②見積額 50 万円未満の施設・設備の修繕 → 50 万円以上の修繕は、県執行
 - ③備品等管理 → 備品購入は、県執行
 - ④警備・清掃・廃棄物処理・環境整備
 - ⑤自販機等設置
- (3) 施設運営補助
 - ①管理的業務及び内部管理事務
 - ②受入事業・主催事業の補助及び経費の支払い
 - ③食堂及び売店の運営
- (4) 東部社会教育研修センターの施設及び設備の維持管理
- (5) その他
 - ①事業計画の作成

- ②業務報告書の作成
- ③事業報告書の作成
- ④運営委員会等関係機関との連絡調整
- ⑤帳簿の整備
- ⑥事業提案

5 指定管理業務評価（令和6年度）

総合評価 A

施設管理の状況について

■施設管理の現状

●環境整備員を専属で雇用し、植栽の剪定、落ち葉清掃、除草、グラウンド芝の管理を定期的を実施しています。通路沿いの、屋外での活動範囲の樹木にも目を配り枯れ枝の除去及び伸びすぎた枝の伐採を実施しています。

令和7年度は、屋内消火栓ホースの取れ替え時期をむかえ、館内28ヶ所の屋内消火栓ホースの交換を行いました。

消防設備におきまして、法令違反がないよう又、不備がないよう、メンテナンスを行っております。

●施設の長寿命化を図る為「建築保全業務共通仕様書」を元に施設管理を実施しています。6年度から年間保全計画を作りなおし細かく確認ができるようにしました。それと合わせ日々点検・記録の実施を継続しています。7年度は6月から3月末の間に施設の大規模改修工事があり、その工事で老朽化しておりました冷温水発生機(2機)、温水発生機、(1機)ポンプ(2機)、を更新していただきました。これにより、空調、給湯に係る故障のリスクが大幅に軽減されると考えております。

体育館の吊下げ式バスケットゴールのワイヤー交換を行うこととなっております。

●レジオネラ属菌が発生しないよう管理を心掛けております。クーリングタワー使用の時期は、定期的に薬剤を入れ管理をし、浴槽は、大規模改修工事の関係で湯を張れない期間がありますが、張れる期間には、定期的に湯を張り高濃度洗浄を実施しました。工事終了後、浴槽と配管洗浄を行う予定です。水道水の塩素濃度は、週1回貯水タンク内の水を入れ替え塩素濃度が基準を下回らにようにしました。7年度のレジオネラ属菌検査ではクーリングタワー、浴槽共にレジオネラ属菌は検出されませんでした。

4月から運営するに当たり、3月に浴槽レジオネラ検査を実施予定にしております。浴槽配管の次亜塩素酸による高濃度洗浄を行いレジオネラが発生しないように努めてまいります。

■食堂の運営について

●食堂厨房機器については正常稼働と衛生面を考慮して、専門メーカーによるメンテナンス点検を年1回実施、機器リストを作成し、その内容を月1回の「施設運営連絡会」に反映させ県と情報共有し修繕計画に活用しています。7年度は、食堂のウォータークーラー2台のウォータークーラーレバー修繕、ティーサーバーの浄水器カートリッジ交換、コールドテーブルファンモーター交換を実施しました。

■経費の執行状況

- 引き続き中国電気保安協会の「Web デマンドサービス」のモニターの「総電力、最大電力、瞬間電力、予測電力」のデータ等を見ながら、設備運用を行っております。6月からの大規模改修工事にともない、本館での施設利用者は無く、エアコン室外機は取り外され、使用電力量が減少するため、Eco アラーム設定値（目標電力 140kw から 129kw へ、限界電力を 146kw から 135kw へ）変更し、低い数値目標で管理を実施しております。

■施設の運営

- 設備の日常点検を実施し、不備があれば早急に対応しております。環境整備については専属の職員を配置し、日々綺麗な状態であるよう努めています。主催事業のチラシ配布準備・食材、物品準備については経験をもとに事前に行動しスムーズに行えるよう研修支援課と連携し実施しております。

■今後の課題

- 樹木の生長により施設侵入路の木の伐採をさらに必要と考えております。来所者の通行の障害にならないよう整備を行ってまいります。また、通行区分を示す白線や道路標示等の視認性確保を含めた、計画的な環境整備を行います。

令和7年度 施設の改修工事等について

平成3年の開所から30年以上が経過し建物等が老朽化しているため、令和7年度は大規模な改修工事を行った。

令和7年度の改修工事、備品購入の状況は次のとおり。

1. 改修工事

工 事 名	当初契約(千円)
青少年の家長寿命化(建築)工事	199,100
青少年の家長寿命化(電気)工事	137,500
青少年の家長寿命化(機械)工事	114,950
青少年の家特定天井改修(建築)工事	61,820
青少年の家特定天井改修(設備)工事	25,300
合 計	538,670

2. 修繕工事

工 事 名	契約(千円)
艇庫スロープレール取替工事	1,452
屋外ベンチ修繕工事	1,815
合 計	3,267

2. 備品等購入

備 品 名	契約額(千円)
会議テーブル(第4研修室)	1,606
会議テーブル(第5研修室)	778
ベッドマットレス(1階洋室)	568
業務用温蔵庫	
合 計	2,952

令和8年度 鳥根県立青少年の家 主催事業等一覧（予定）

事業名等	事業のねらい	対象・人数（目安）	実施時期・場所
1 施設開放事業 ① 春のオープンデー ② 湖面カーニバル ③ サン・レイクフェスティバル	施設設備を広く県民に開放し、青少年の体験活動の場、地域の交流の場を提供し、「青少年の家」の施設の利用と活用を促進に資する。	どなたでも	年間3回 ① 4/26（青少年の家） ② 6/7（艇庫周辺） ③ 10/18（青少年の家）
2 青少年教育事業 〈地域【保育所等】の宿泊体験活動モデル事業〉 ○ にんにんチャレンジ 〈地域【公民館等】の宿泊体験活動モデル事業〉 ○ キッズチャレンジ	基本的な生活習慣の形成と仲間と最後までやり通す力及び集団への適応力向上のきっかけとする。	年長児 各回 20-30 名	年間2回 日帰り ① 11/21・22（青少年の家） ② 11/28・29（青少年の家）
〈次代のリーダー育成事業〉 ○ サマーチャレンジ	集団での生活体験や施設周辺での自然体験などを通して、協調性や自主性を学ぶきっかけとする。また、何事にも挑戦しようとする気持ちを育む。	小1～3年 各回 20-30 名	年間2回 1泊2日 ① 9/12-13（青少年の家） ② 10/31-11/1（青少年の家）
3 家庭教育支援事業 〈ひとり親家庭応援〉 ○ エンジョイ！親子キャン 〈各種体験活動〉 ○ わくわく体験講座 ※R6～8 はグリーンパークとの連携事業含む。	親子でふれあったり、参加家族同士で交流したりする体験活動や講座、施設開放を提供することにより、家庭の教育力向上に資するとともに、体験活動への理解・普及に努める。	県内のひとり親家庭・ 8-12 組 小学生・未就学児を含む家族 10 組程度	年間1回 1泊2日 7/18-19（青少年の家） 年間5回程度 主に11月～2月
4 体験活動支援者養成事業 ○ 体験活動基礎講座 ○ なかまづくりセミナー	地域活動やボランティア活動に必要な理論や技術を体験的に学べる機会を提供し、活動する上で必要なスキルの向上を図り、併せて社会貢献への意欲を高める。	学生・青少年教育関係者、公民館等職員等 20-30 名	年間1回 1泊2日 ① 5/30-31
5 地域の体験活動支援事業 ○ 地域の体験活動支援事業	人間関係づくりの大切さを体験的に学べる機会を提供し、学級経営や人材育成等に生かす意欲やスキルを高める。	教職員・研修担当者（官・民）・青少年教育関係者・学生など 各回20-30名	年間2回（日帰り） ① 7/30（青少年の家） ② 8/4（青少年の家）
6 研究事業 ○ 効果実証研究	公民館等が学校や地域住民などの協力を得て行う宿泊や日帰りの体験活動を支援し、地域づくりを担う人づくり推進の一助とする。	教育委員会 公民館等職員 大学（学生対象）	通年（調整）
7 プログラム開発事業 ○ 地域と連携した活動プログラムの充実	体験活動を行う良さ・効果について明らかにできるように各事業において視点を明確にして取り組む。		通年
8 連携事業 ○ 地元地域及び連携施設との連携強化	地元自治会やコミュニティセンターと連携してプログラム開発を進め、主催事業や研修プログラムの充実を図る。		通年
9 アウトリーチ型支援事業 ○ サン・レイク出前事業	体験活動の普及・啓発及び主催事業等の充実を図るため、施設連携の他、地元地域及び関係諸団体との連携強化を行う。	サン・レイクのできる体験プログラムの提供により、体験活動の普及啓発及び所の周知と利用促進を図る。	青少年の家への来所が困難な団体 通年（12月～2月）

青少年の家 サン・レイク 施設使用料

1 改定日 令和8年4月1日

2 経過措置 利用日が令和8年4月1日以降であっても、令和8年3月31日までに使用許可を受けている場合は改定前の料金で利用できます。

3 使用料

(1) 宿泊使用の場合

区分		改定後の使用料	改定前の使用料
下記以外の方	県内者	1人1泊につき 1,160円	1人1泊につき 1,060円
	県外者	1人1泊につき 1,760円	1人1泊につき 1,600円
高校生以下の方		無料（シーツ代170円が必要）/回	

【使用料の減免について】

障害者手帳、療育手帳等の交付を受けている方は、事前の申請をすると使用料が半額となります。

また、その介助者（引率職員は介助者とはならない）は無料（ただし、シーツ代170円が必要）となります。

(2) 宿泊使用以外の場合

区分		改定後の使用料						改定前の使用料					
		9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	18:00~ 22:00	9:00~ 17:00	13:00~ 22:00	9:00~ 22:00	9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	18:00~ 22:00	9:00~ 17:00	13:00~ 22:00	9:00~ 22:00
第1研修室、第2研修室 第3研修室、第4研修室 特別研修室（1階談話室）		770円	1,020円	1,020円	1,790円	2,040円	2,810円	700円	930円	930円	1,630円	1,860円	2,560円
第5研修室		1,690円	2,260円	2,260円	3,950円	4,520円	6,210円	1,540円	2,060円	2,060円	3,600円	4,120円	5,660円
第6研修室		280円	390円	390円	670円	780円	1,060円	260円	360円	360円	620円	720円	980円
和室研修室（憩いの間）		670円	890円	890円	1,560円	1,780円	2,450円	610円	810円	810円	1,420円	1,620円	2,230円
和室206、和室207、和室208		770円	1,020円	1,020円	1,790円	2,040円	2,810円	700円	930円	930円	1,630円	1,860円	2,560円
音楽室		910円	1,240円	1,240円	2,150円	2,480円	3,390円	830円	1,130円	1,130円	1,960円	2,260円	3,090円
茶室		360円	490円	490円	850円	980円	1,340円	330円	450円	450円	780円	900円	1,230円
試食室		630円	840円	840円	1,470円	1,680円	2,310円	580円	770円	770円	1,350円	1,540円	2,120円
調理室		1,350円	1,790円	1,790円	3,140円	3,580円	4,930円	1,230円	1,630円	1,630円	2,860円	3,260円	4,490円
多目的ホール		3,220円	4,290円	4,290円	7,510円	8,580円	11,800円	2,930円	3,900円	3,900円	6,830円	7,800円	10,730円
体育館		1時間につき 2,170円						1時間につき 1,980円					
第1創作室	貸切の場合	1,040円	1,410円	1,410円	2,450円	2,820円	3,860円	950円	1,290円	1,290円	2,240円	2,580円	3,530円
	貸切でない場合 （1人につき）	270円	360円	360円	630円	720円	990円	250円	330円	330円	580円	660円	910円
第2創作室	貸切の場合	770円	1,020円	1,020円	1,790円	2,040円	2,810円	700円	930円	930円	1,630円	1,860円	2,560円
	貸切でない場合 （1人につき）	190円	260円	260円	450円	520円	710円	180円	240円	240円	420円	480円	660円
テニスコート	貸切の場合	1面1時間につき 240円						1面1時間につき 220円					
	貸切でない場合 （1人につき）	1時間につき 60円						1時間につき 60円					
グラウンド		1時間につき 510円						1時間につき 470円					
バーベキューハウス		1卓1時間につき 90円						1卓1時間につき 90円					
カッター		1艇1時間につき 2,370円						1艇1時間につき 2,370円					
カヌー（1人用）		1艇1時間につき 220円						1艇1時間につき 220円					
カヌー（2人用）		1艇1時間につき 460円						1艇1時間につき 460円					
サバニ		1艇1時間につき 1,770円						1艇1時間につき 1,770円					
ヨット		1艇1時間につき 220円						1艇1時間につき 220円					
陶芸窯	素焼の場合	1回につき 2,010円						1回につき 2,010円					
	本焼の場合	1回につき 4,050円						1回につき 4,050円					

※体育館の半面を使用する場合の金額は、全面料金の半額となります。（10円未満の端数がある時は端数切捨て）

※テニスコート・第1・第2創作室について、高校生以下は無料です。（貸し切りでない場合に限る）

食堂価格改定について

原材料費および光熱費の継続的な高騰に加え、近年の物価上昇に伴う人件費の増加等により、食堂運営に係る諸経費は全体的に上昇している状況が続いております。

これまで、経費削減や運営の効率化等により価格の維持に努めてまいりましたが、現行価格のままでは、安定的かつ継続的な食事提供を行うことが困難な状況となりました。このため、やむを得ず、食堂メニュー等の価格改定を実施することといたしました。

つきましては、改定内容を別紙のとおりお知らせいたします。

◎価格改定

区分	旧価格（税込）	新価格（税込）	増額（税込）
朝食（中学生以上）	430	630	200
朝食（小学生以下）	400	600	200
昼食（中学生以上）	590	890	300
昼食（小学生以下）	560	860	300
夕食（中学生以上）	690	960	270
夕食（小学生以下）	650	920	270

分類	品目	旧価格（税込）	新価格（税込）	増額（税込）
弁当	野外活動弁当	610	740	130
	パン弁当	610	740	130
その他	おつまみセット	1,120	2,100	980
お子様メニュー	お子様カレーセット	400	650	250
バーベキュー	バーベキューセット	1,120	1,300	180
	追加肉	610	750	140
追加メニュー	ごはん（1合）	200	230	30

分類	品目	旧価格（税込）	新価格（税込）	増額（税込）
野外炊飯	カレーライス	450	600	150
	豚汁	450	600	150
	野外バーベキュー	940	1,120	180
キャンプ料理おやつ編	パン（20個分）	1,220	2,200	980
	ホットケーキ	610	960	350
	ヨーグルトパン	900	1,080	180
	バームクーヘン	1,830	2,700	870
ピザ作り	ピザ	2,400	2,700	300
キャンプ料理軽食編	ホットサンド	300	420	120
	カートンドック	300	400	100
飲料	りんごジュース	140	160	20
	お茶（500ml）	170	140	-30

令和6年度 島根県立青少年の家運営委員会でいただいた主な意見

意見・要望等	回 答
<p>利用者数の年間目標値、宿泊室の稼働率の目標値など、設定していたのか。</p>	<p>今年度の目標は48,000人と設定している。コロナ禍前の令和元年度は43,000人であるが、なかなか利用者数が戻らない状況。来年度から始まる新たな島根創生計画の中で令和7年度以降の目標値を設定する。</p> <p>宿泊室の稼働率は、部屋の定員と団体の意向人数との兼ね合い等で、設定するのは難しい。</p>
<p>コロナ禍前に実施していた店舗やイベント等への出展を、継続しているのか。</p>	<p>今年度は諸事情により出展していないが、来年度は改修工事の期間を利用して、積極的に出かけていく予定にしている。</p>
<p>サン・レイクは出雲市に立地しているが、出雲市内の小学校は江津少年自然の家を利用している。施設の良さが伝わっていないのではないかと思う。PTA連合会等と連携してもいいのではないか。</p> <p>養護学校はスクールバスを持っているので利用しやすいのではないか。特に小学部、中学部は良い体験活動ができると思う。</p> <p>高校は生徒数が減少してきており、以前は宿泊定員の関係でサン・レイクを利用できなかった学校でも利用できる規模になっているので、PRしてはどうか。</p>	<p>1年前から予約ができるため、学校は宿泊研修が終わると次年度の予約をするというようなサイクルなのではないかと考えている。PTA連合会には、出雲市へ今年度はでかけたところ。</p> <p>養護学校の利用は、今年度は多くない。</p> <p>今後、校長会などに出席してPRしていきたい。</p>
<p>学校団体の利用者数がコロナ禍前に比べ戻っていない。学校は年間計画が早い時期に決定しているため、次年度ではなく、その次の年に向けて案内をするなど、早めの案内が必要。</p>	<p>小学校は戻りつつあるが、中学校、高校、大学、各種学校が戻っていない状況。</p> <p>昨年度の運営委員会でいただいた意見を取り入れ、ホームページに利用された方の声を紹介している。学校の計画策定等のタイミングを見ながらPRしていきたい。</p>
<p>施設が老朽化しているようだが、予算はついているのか。事故が起きてしまうと取り返しがつかないので必要な修繕は実施してほしい。</p>	<p>県全体の施設の中で、優先順位をつけながら修繕を実施しているが、予算の関係で対象とならない部分もある。危険箇所や、利用に支障が出るようなものは、その都度予算を要求し、緊急修繕をしながら対応している。</p>

意見・要望等	回 答
<p>保育所の利用状況はどうか。</p>	<p>2月、3月は保育所、幼稚園の利用が非常に多い。閑散期はサン・レイクのバスで送迎をおこなっているため、それも要因ではないかと思う。</p>
<p>米、食材等が高騰しているが、影響はでているか。</p>	<p>出来るだけ地産地消ということで地元のものを使用しているが、かなり厳しい状況のため、令和8年度に向けて値上げを検討している。豪華にするわけではなく現状維持できるようにしたい。 不明確な要素もあるため、しっかりと見定めながら検討したい。</p>
<p>稼働率の偏り、例えば曜日、月による繁忙・閑散により困っていることがあるのか。現状と、今後予定していることが何かあるのか。</p>	<p>曜日による繁閑の差はあまりない。宿泊だと1年前から予約できるため、その合間を縫って次の予約が入ってくる。 湖面活動を実施しない冬季は利用者が少ないが、その間を利用して次年度の準備等を行っている。 また、閑散期にはバスでの送迎をするなどしている。</p>
<p>社会教育施設ではあるが、子ども食堂のような事を実施する可能性はあるか。</p>	<p>食事をボランティアで提供するのには厳しいが、可能な範囲で協力したい。</p>
<p>コミセンでは学校が早く終わる日に「子どもの居場所づくり」を実施している。工事期間中に実施する出張支援を利用したい。 また、文化祭への出展も希望したいが、すでにサン・レイクは事業の予定が入っている。 R7年度の改修工事期間中は、出かけて行って施設の良さを多くの人に知ってもらい、その後の利用に繋がるよう頑張ってもらいたい。</p>	<p>是非、利用していただきたい。 主催事業等が入っている場合でも、職員体制に余裕があれば出かけていけるので、ご相談いただきたい。来年度、出張支援などにしっかりと取り組んでいきたい。</p>
<p>共働き世帯が増え親に余裕がなくなっている状況で、サン・レイクの役割は大きいと思う。 利用者が口コミで次の利用者へと繋がるように連鎖していくといい。</p>	<p>家族を対象とした主催事業では、普段、体験活動の時間が取れないためとても良かったとの感想が寄せられている。施設の役割、事業をPRしていきたい。</p>